

野沢温泉の必見の場所の一つが村の共同の野外キッチンである麻釜です。野沢温泉の 30 の源泉の中でも最も熱い源泉から名前を取っていて、斜面の一番上にあります。麻釜には摂氏 90 度の、湯気が出るほど熱い鉱水が止めどなく流れる、5 つの大きさの異なる湯溜まりがあります。地元の人たちはその湯を洗い物や、野菜や卵を茹でるのに使っています。ミネラル分が豊かなお湯は食べ物に驚くほどおいしい風味を加えます。特にこの地域の特産品である葉野菜の野沢菜は、温泉で茹でた後、えぐ味が消えるのです。

麻釜へ行くことができるのは地域の人々に限られていますし、それに安全上の理由から、訪問客は湯溜まりに近づくことはできません。しかし、それでも十分近い距離からその光景を見ることができますし、朝方の眺めが一番です。この地域の伝説にもなっている温泉卵を味わうには、麻釜と湯らりを結ぶ路地を歩いて行ってください。湯らりには数ある町の足湯の 1 つと、予め購入した卵（路地沿いのお土産物店で買うことができます）を茹でるための湯船があります。卵が食べられるようになるのにおよそ 20 分必要です。野沢温泉の素晴らしい眺めとともにリラックスできる足湯がありますので、間違いなく待つだけの価値はあります。